

子供たちの可能性を引き出す

『令和の日本型学校教育』の学びの在り方



令和5年
12/1 (金)
オンライン開催 (Zoom)
オンデマンド配信あり
R5.12.21~R6.1.31



あなたの可能性も引き出します！

午前の部

9:00~12:30

第1部会

地域社会に根ざした高等学校の学校間連携・協働ネットワーク構築に関する研究(COREハイスクール・ネットワーク構想)

- ◇リアルタイム配信による通年遠隔授業の実践(観察、実験、野外授業を含む)
- ◇中山間地域や半島部における地域連携コンソーシアムの取組

第2部会

県立高等学校教育課程課題研究(産業教育(商業))

- ◇授業のまとめ(単元)を意識した「学習指導案」と評価基準表を取り入れた「ワークシート」の効果的な活用
- ◇教科横断的な学びの実現に向けた、PBL(Project Based Learning)を取り入れた先行事例
- ◇授業者・参観者・生徒で築く、オープン化した授業と授業改善の一考察

第3部会

県立高等学校教育課程課題研究(産業教育(家庭、看護、福祉))

- ◇パフォーマンス課題による評価方法の紹介
- ◇「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業の紹介

午後の部

13:00~16:30

第4部会

新学習指導要領を踏まえた学習評価の在り方に関する研究

- ◇「授業マネジメントシート」の活用
- ◇授業のヤマ場の設定と問いの充実
- ◇子供の学習改善と教師の指導改善への取組

第5部会

県立高等学校教育課程課題研究(地理歴史、公民)

- ◇生徒の学びを深める授業の実践
- ◇適切な評価の場面の設定と評価方法の紹介
- ◇「主体的に学習に取り組む態度」を評価する方法の実践

第6部会

情報教育の充実に関する研究(ICT授業活用に関する研究)

- ◇児童生徒が「主体的・対話的で深い学び」に向かう授業実践
- ◇学習者中心の学びの実践において、効果的な場面でのICT利活用の紹介
- ◇さまざまな場面でのICT利活用の紹介

申込方法

<https://apec.aichi-c.ed.jp/cms/kenkyu/page-4662/page-5974.htm>
所属長の了承を得て、令和5年11月20日(月)までに上記のURLまたは二次元コードからお申し込みください。後日、オンデマンド動画配信も行います。

研究主題	発表概要	研究発表関係者
<p>第1部会 対象:高特</p> <p>地域社会に根ざした高等学校の学校間連携・協働ネットワーク構築に関する研究(COREハイスクール・ネットワーク構想)</p>	<p>中山間地等に立地する高等学校に向けてリアルタイムで配信している遠隔授業の様子を紹介するとともに、各地域で推進している地域連携コンソーシアムの取組について報告します。また、外部教育資源を有効に活用することで、生徒の主体的・対話的で深い学びを支援し、学校の魅力化・特色化につながることにについて提案します。</p>	<p>指導助言者 愛知教育大学教授 梅田恭子 愛知教育大学教授 福井真二 愛知教育大学准教授 齋藤ひとみ</p> <p>研究協力校代表委員 内海高等学校 山口喬士 加茂丘高等学校 小笠原詠子 足助高等学校 飯田雅史 福江高等学校 山本慎也 新城有教館高等学校作手校舎 小川哲史 田口高等学校 松下和生</p> <p>高等学校教育課 伊藤 潤</p> <p>総合教育センター 中村羊大 雨宮 永 原田拳志 山田公一 武田邦生 渡邊芳隆</p>
<p>第2部会 対象:高特</p> <p>県立高等学校教育課程課題研究(産業教育(商業))</p>	<p>これまで研究してきた学習指導要領に準ずる「学習指導案」の作成や、場面別評価基準表を活用した「ワークシート」の作成について、実践を踏まえた成果を発表します。また、教科横断的な学びの実現に向けた、PBLを取り入れた先行事例の報告や「主体的・対話的で深い学びの実現に向けたOne Action」として、授業のオープン化による授業改善の一方策を提案します。</p>	<p>運営委員長(校長) 一宮商業高等学校 朝日真二</p> <p>運営副委員長(教頭) 岡崎商業高等学校 竹内道治</p> <p>研究員 中川青和高等学校 後藤修志 犬山高等学校 佐野佳史 一宮商業高等学校 中村雅計 岡崎商業高等学校 岡本仁絵 豊橋商業高等学校 安藤 駿</p> <p>高等学校教育課 浅井識智</p> <p>総合教育センター 西脇正和</p>
<p>第3部会 対象:高特</p> <p>県立高等学校教育課程課題研究(産業教育(家庭、看護、福祉))</p>	<p>各教科の見方・考え方を働かせ、学んだ知識やスキルを総合して活用できるパフォーマンス課題の開発や、生徒の主体的に学習に取り組む態度を育成するための指導方法と評価について研究しました。今回は「子ども文化」「フードデザイン」「基礎看護技術」「こころとからだの理解」において、生徒に目指す資質・能力を育むための学びについて提案します。</p>	<p>運営委員長(校長) 一宮商業高等学校 朝日真二</p> <p>運営副委員長(教頭) 古知野高等学校 川口永理</p> <p>研究員 南陽高等学校 楯 芳美 海翔高等学校 岩城令佳 桃陵高等学校 竹田奈央 一色高等学校 西村隆也</p> <p>高等学校教育課 服部麻美子</p> <p>総合教育センター 服部浩子</p>
<p>第4部会 対象:小中高特</p> <p>新学習指導要領を踏まえた学習評価の在り方に関する研究</p>	<p>「指導と評価の一体化」の実現に向けた「授業マネジメントシート」及び「振り返りシート」を活用した各校での授業実践について報告します。研究協議では、授業のヤマ場の設定や問いを充実させ、子供の学習改善、教師の指導改善に生かしていくために、「授業マネジメントシート」の活用法について意見交換をします。</p>	<p>指導助言者 愛知教育大学准教授 竹川慎哉</p> <p>研究協力校代表委員 あま市立美和小学校 飯塚恵理 知立市立知立小学校 正木郁子 瀬戸市立にじの丘中学校 嶋津智子 蒲郡市立塩津中学校 藤田正和 豊田工科高等学校 柴口英哉 知立東高等学校 鋤柄寿樹 一宮聾学校 濱地航平</p> <p>総合教育センター 原田拳志 佐々 恵 谷川永里子 杉山寛仁 山田公一 山田和幹 杉浦直樹 叶井順子</p>
<p>第5部会 対象:高特</p> <p>県立高等学校教育課程課題研究(地理歴史、公民)</p>	<p>生徒の主体的な学習を促す発問を設定した授業実践と観点別評価の方法についての研究成果を報告します。評価については、単元指導の計画を立てる上で「どの場面で、どの観点を、どう評価」するべきかというテーマを設定し、単元指導計画における評価場面の精選と評価方法の開発についての取組を報告します。</p>	<p>運営委員長(校長) 杏和高等学校 織部匡久</p> <p>運営副委員長(教頭) 知立東高等学校 三輪英世 豊丘高等学校 野崎武史</p> <p>研究員 旭丘高等学校 遠藤慎也 昭和高等学校 村瀬眞平 長久手高等学校 犬飼大介 東郷高等学校 小池遼太 丹羽高等学校 田中広平 一宮南高等学校 稲山紀彰 半田高等学校 相原 正 刈谷高等学校 黒野峻太郎 西尾高等学校 山崎理恵 時習館高等学校 磯部真輝 豊橋東高等学校 服部良太 国府高等学校 大竹生真 御津あおば高等学校 大浦拓哉</p> <p>高等学校教育課 猪俣直樹 松坂和俊 白河 格</p> <p>総合教育センター 渡邊芳隆 渡辺雄太</p>
<p>第6部会 対象:小中高特</p> <p>情報教育の充実に関する研究(ICT授業活用に関する研究)</p>	<p>児童生徒がより主体的・対話的で深い学びへ向かう、学習者中心の学びの実践を通して、効果的な場面でのICT利活用の授業実践について報告します。研究協議では、ICT利活用による授業デザインや児童生徒の学びの変容などについて意見交換をします。</p>	<p>指導助言者 愛知教育大学教授 梅田恭子</p> <p>研究協力委員 小牧市立大城小学校 滝藤充宏 安城市立桜井小学校 太田真生 春日井市立高森台中学校 長縄正芳 東海市立横須賀中学校 山下恵太 名古屋南高等学校 澤井祐哉 名古屋特別支援学校 瀬崎 岳</p> <p>総合教育センター 山田公一 佐々 恵 杉山寛仁 猪狩雄一 國松一彰 叶井順子</p>
<p>「全国学力・学習状況調査に関する研究」</p>	<p>当日及び後日に「全国学力・学習状況調査に関する研究」の報告動画をYouTubeでオンデマンド配信します。</p>	
<p>「教育相談特別研修研究」</p>	<p>当日のみ、「教育相談特別研修研究」の報告動画をYouTubeでオンデマンド配信します。※教育関係者のみ視聴できます。</p>	